



2022年5月13日

各 位

会 社 名 ナカバヤシ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 湯本 秀昭
(コード：7987 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員管理統括本部長 作田 一成
(TEL 06-6943-5555)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年5月14日付「中期経営計画策定に関するお知らせ」で公表いたしました中期経営計画を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画（中期数値目標（連結））の修正

【単位：百万円・％】

	2022年3月期	2023年3月期		2024年3月期	
	(実績)	(当初計画)	(修正後)	(当初計画)	(修正後)
売上高	63,118	67,000	65,000	70,000	67,000
経常利益	2,336	3,400	3,000	3,850	3,400
経常利益率	3.7	5.1	4.6	5.5	5.1

2. 修正の理由

当社グループにおきましては、第3次中期経営計画(2021年4月1日～2024年3月31日)「add+venture 70」(アドベンチャー70)に基づき、ニューノーマルやDXによるビジネスモデルやプロセスの大きな変化に対応するために、グループ全体として経営資源の最適配分、事業セグメント間やグループ会社間のシナジー創出など更に取り組んでまいりました。ポストコロナの時代に求められる具体的な方針として、これからの時代に中心的な役割を担っていく産業分野である「生命関連産業」(注)のリーディングカンパニーを目指し、既存事業の強化や新規事業への参入に向けた取り組みを進めております。

(注)「生命関連産業」とは、京都大学の広井良典教授が提唱している概念

計画初年度である2022年3月期において、売上高につきましては、データプリントサービスなどのビジネスプロセスソリューション事業の売上高が、競争の激化、受注単価の下落により目標より908百万円下回りました。またコンシューマーコミュニケーション事業の売上

高はリモート関連用品の需要が一巡したことや半導体不足による新製品の拡充の遅れ等により目標より702百万円下回りました。結果、当初公表数値を下回る結果となりました。

利益につきましては、売上高が目標を下回ったことに加え、原材料費の高騰、円安による輸入商品の仕入価格上昇により、原価率が目標より0.9ポイント上昇し、販売費及び一般管理費比率も目標を0.3ポイント上回ったため、経常利益は当初公表数値を下回る結果となりました。

昨年からの円安による輸入品価格の高騰や原材料費の高騰、原油を始めとする資源価格の上昇により、各種製造に関わる費用や運送費が値上がりしていることから、先行きが不透明な状況にあることを踏まえ、2023年3月期以降の中期数値目標を堅実な計画に修正することと致しました。なお、中期基本方針、中期事業戦略、コアコンセプトについては変更せず、引き続き各種施策を展開してまいります。

(注) 上記の目標数値等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因によって目標数値等と異なる結果となる可能性があります。

以上